

2018年9月24日(月) 地元町内会の防災講座に協力

秋分の日振り替え休日となった9月24日、7月の豪雨災害を教訓に、OHKの地元となる学南町中央町内会が、初めての防災講座を開催。OHKも本社を会場として提供しました。講座には当初の予定を大きく上回るおよそ150人が参加し、座学と体験学習で防災について学びました。



今回の講座では、岡山市危機管理室の職員が「ハザードマップなどで地域の現状を把握すること」「インターネットや岡山県の防災情報メールなど情報を入手する方法」「非常持ち出し袋の準備」「避難経路、家族の集合場所を決めておくこと」など命を守るために日頃から取り組むべきことについて話し、避難所開設後の円滑な運営には、日頃からの地域コミュニティや自主防災組織の連携が重要なカギとなることなどが伝えられました。こうした座学のほかに、岡山市の消防局員によるAEDの使用方法や心臓マッサージの体験講習、また、地震の体験ができる起震車を使って震度6強の地震体験も実施されました。



この他、水や湯を入れるだけでご飯ができる備蓄用のご飯や、長期間保存が可能なクラッカーなど、備蓄食品の試食も行われました。



OHKからは総務部の小川社員が参加し、参加者からの質問などに対応させていただきました。地域で初の体験学習、皆様お疲れさまでした！OHKでは、今回のような防災講座の開催など、

地元の皆さんの地域活動にもできる限りご協力をさせていただければと考えています。